

団体による推薦（中間公表）

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者等	名称	代表者又は管理人の氏名	活動の主たる目的	構成員の数 (人)	構成員の資格・要件	推薦理由
				年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積 (a)							
樫尾 一貴	男	39	農業法人執行役員	H25.4 R4.8 R7.7～現在	農事組合法人ニューファーム秋田入社 農事組合法人ニューファーム秋田理事就任 農事組合法人ニューファーム秋田代表理事	水稲、せり、蓮根、サツマイモ	7,462	○	土崎自治会	会長 出茂和吉	行政区の自治運営	195世帯	行政区内の住民	被推薦者は、大学卒業より農業の現場で経験を積み、現在は農事組合法人の代表理事として約75haに及ぶ大規模な農業経営を牽引されています。稲作やせり、サツマイモ、蓮根など多角的な品目により実績を積み、認定農業者としての知識は、美郷町の農地利用の最適化や農業振興において、大きな推進力となると考えられます。今後の農業委員会には必要な存在であると考え、推薦いたします。
高橋 孝人	男	66	農業	R4.5～現在 R5.7～現在 R6.3～現在	美郷町千畑土地改良区理事 美郷町農業委員会委員 農事組合法人理事	水稲、花卉	514	○	美郷町千畑土地改良区	理事長 佐藤辰雄	土地改良施設の維持管理、基盤整備事業	902	土地改良法第3条による	被推薦者は、将来の地域農業を守るべく、農業従事者の高齢化に伴う担い手不足の実情から土地改良事業の推進が必要と考え、令和4年度から千畑土地改良区理事として就任しています。今後、農地や土地改良施設の維持管理が困難になってくると思われる中、土地改良事業を推進しながら、農地集積や農地保全に大きく貢献されると考えられますので、推薦いたします。

応募（中間公表）

氏名	性別	年齢 (歳)	職業	経 歴		農業経営の状況		認定農業者等	応募理由
				年月日	職名・役職等	営農類型	耕作面積(a)		
田口慶明	男	38	法人役員	H31.3 R4.9 R7.2 R8.3～現在	農事組合法人やりだの大地入社 農事組合法人やりだの大地理事就任 農事組合法人やりだの大地代表理事就任 株式会社やりだ代表取締役(組織変更)	水稲、大豆、 せり、枝豆	3,200	○	私は地域で水稲・大豆を中心とした農業経営を行い、農地の集積・活用を実践してきました。高齢化や担い手不足が進む中、現場の実情を理解した立場から農地利用の調整と遊休農地の防止に貢献したいと考え、応募いたしました。担い手としての経験を生かし、農地の集積と基盤整備を進めながら、地域農業を持続可能で収益性の高い産業へ発展させていくことを目指し、地域農業の維持と成長に尽力してまいります。
深田秋彦	男	70	農業	S52.4 H17.3 H29.7～現在 R3.11～現在 R4.3～現在	畑屋農業協同組合入職 秋田おばこ農業協同組合退職 美郷町農業委員会委員 秋田県仙北平野土地改良区総代 美郷町千畑土地改良区総代	水稲	100.84	○	農業委員になってから様々な活動をしてきましたが、農地の集積・集約、遊休農地対策など課題は多いです。そこで、今までの様々な経験を基に課題解決に取り組み、活動していきたいと思い応募しました。
佐々木定廣	男	75	農業	H3～H10.3 H12.12～H28.12 R2.7～現在 R4～現在	秋田おばこ農業協同組合六郷地区理事 六郷土地改良区監事 美郷町農業委員会委員 秋田県仙北平野土地改良区総代	水稲	700	○	美郷町南町地区の圃場整備が本格的に動き出して来たため、圃場整備事業がより良く進むよう委員として尽力したいと考えております。また、地域の農業人口が減り、農地の保有場所が分かりにくいので、これまでの経験を活かしたいと思い応募しました。
齋藤美由木	女	65		S58.3～H6.3 H6.3～R3.3 R3.5 R3.10～R4.12 R5.1～ R5.7～現在	大倉建設株式会社勤務(営業 役職:係長) 西日本住宅流通株式会社代表取締役社長 秋田Aター 有限会社花宝堂六郷葬儀社パート社員 六郷開発株式会社パート社員 美郷町農業委員会委員			×	中立委員として、農業委員の仕事させて頂いてから、早いもので3年が経とうとしています。農業に従事していない自分が他の農業委員の方と同じ仕事をして、初めの頃は農業委員なのにこんなことも知らないのかと叱咤激励を受け、頑張ろうと思うものの中立という立場に戸惑い、悩んだ時期もありました。そんな時、女性協議会の研修に度々参加し、同じ悩みを持っている中立委員の方々と話す機会があり、悩んでいるのは私だけではないと気持ちが少し楽になったり、先輩女性委員から頑張ろうと元気を頂いたりしながら、なんとかやってきました。初めての方と話すのは今でも緊張しますが、少しは慣れて来たかなと思う今日この頃、もう少し頑張りたいという欲も出てきました。一つ一つの仕事を丁寧に頑張っていきたいと思っております。
細井千代文	男	63	農業法人執行役員	H20.10～現在 H26.7～現在 R5.7～現在	農事組合法人代表理事 美郷町農業委員会委員 美郷町農業委員会会長職務代理者	水稲、大豆、 ネギ、葡萄	3,500	○	私は45年間、水稲栽培に取り組む中で高齢化による離農と耕作放棄地の増加を痛感してきました。これまで、ベテラン農家の経験と勘に頼っていた栽培技術を、スマート農業(ドローンやセンサー)でデータ化し、若手農業者や、新規就農者でも効率的に経営できる環境を整えるとともに、これまで養ってきた地域の農地事情に関する知識とで、生産効率の向上と高齢農家の負担軽減の両立を目指し応募しました。